

「てとて」が5周年を迎えました！

3月20日三重地区子育て支援センター「てとて」で「ありがとう5周年記念イベント」が開催されました。令和2年3月に開所した当時はコロナ禍の真っただ中。「てとて」を運営する社会福祉法人むつみ福祉会の長殿 千晶理事長は開所当時の思い出を振り返るとともに、引き続き地域全体での子育て支援に取り組む決意を表明されました。そして、開所当時にできなかったテープカットを挙行政、会場内は感動と笑顔に包まれました。子ども達は絵本の読み聞かせに夢中になったり、元気いっぱい合唱したりと温かさ溢れるイベントでした。



たき火に注意!! ～林野火災を予防しましょう～

全国各地で、大規模な林野火災が多発しています。

やむを得ず火を使用する場合は、必ず消火準備を行い、完全に火が消えるまでその場を離れないでください。

乾燥した日や風が強いときは、屋外での火の使用は控えて下さい。



※ 全国山火事予防運動における火災防止のための注意を引用

◆SNSでも情報発信しています！

◆地域活動や行事、地域の魅力などの情報がありましたらお知らせください!!



ホームページ



X



Facebook



広報 三重地域センター

令和7年5月号

三重地域センター管内人口 19,710人(男 9,559人 女 10,151人) 8,593世帯(令和7年3月末現在)

長崎市役所 三重地域センター R7.4.17 No.49
〒851-2204 長崎市三重町1098番地1
業務時間 平日8:45～17:30
電話 095-850-1111
FAX 095-840-1001

令和7年長崎市表彰式

4月1日長崎市表彰式が開催され、三重地域から次の方々が受賞されました。

- ◆市政功労表彰【保健環境】 深川 元太郎 様
- ◆市政協力表彰【教育文化】 三重地区史談会 様
- ◆特別表彰【文化】 稲形 将也 様

市政功労表彰を受けた深川様は、長崎市自然環境調査委員として、多年にわたり希少動植物等の生息状況調査やレッドリスト等作成に尽力され、長崎市の豊かな自然環境の保護及び保全に大いに貢献されました。



(表彰式にて)深川 元太郎 様(左)



市政協力表彰を受けた三重地区史談会(森口 純一会長)は、平成26年の結成以来、三重地区の郷土史の調査研究や史跡の保全などに尽力され、長崎市の社会教育の振興に大いに貢献されてきました。会員の皆様は地域の歴史を後世に語り継ぐために、史跡案内板の設置や、歴史講座を開催する等、日々奮闘されています。

三重地区史談会 奥田 尊徳 様(左)、森口 純一 様(右)

三重地区史談会では会員を募集中です。三重の歴史に興味がある方、史跡巡りが好きな方など、入会ご希望の方は同会事務局へお尋ねください。

【問い合わせ】三重地区史談会事務局・奥田様
(Tel090-1195-2137)

特別表彰を受けた稲形様は、「第19回若年者ものづくり競技大会(電子回路組立て職種)」において金賞及び厚生労働大臣賞を受賞されました。



三重地区史談会の皆様

皆様の益々のご活躍を
お祈り申し上げます。

伝承の壺を長崎市へ寄贈賜りました!!



感謝状贈呈式にて、木浦 弘海様(左)、鈴木市長

長らく檜山地区でかくれキリシタンの信仰用具として保管され、調査研究されている「華南三彩貼花文五耳壺」。このたび、持ち主である木浦 弘海様より長崎市へ寄贈され、3月21日感謝状が贈呈されました。寄贈された壺は、令和6年度、国の重要有形民俗文化財の指定答申をうけた「長崎のかくれキリシタン信仰用具」を構成する資料の一つとなっており、大変貴重なものです。木浦様のご芳志に感謝申し上げます。

-第1回- さくら祭り in畝刈



畝刈小学校区まちづくり協議会(入口 初則会長)は令和6年度に設立され、地域の連携の気運が高まっています。同協議会ではさくらの里運動公園を交流の場として活用し、域内の住民の方々の一体感を高め、地域活動の活性化に繋げることを目的として、3月22日「第1回さくら祭り in畝刈」を開催。延べ約5,000人の来場者で賑わいました。

オープニングでは入口会長をはじめとした役員の皆様が、今後の活動の抱負などを力強く宣言されるとともに、地域の方々へまちづくり活動への参加を呼びかけました。



イベントの開催にあたっては、「地域活性化・伝統継承部会(小川 清貴部会長)」が中心となり、地域の方々は何度も協議を重ねてきました。準備や運営では、それぞれの得意なことやできることを活かし、地域一丸となって取り組む中で、新たな交流も生まれ、皆さんがとても生き生きと活動されていました。本部テントでは、「安心安全・防災部会(原口 和夫部会長)」と「子ども・自然・生活環境部会(竹内 尚史部会長)」も令和7年度の活動内容や、子育てサポートマップを掲示して活動をPR。三重地区消防団第40分団の協力による写真撮影コーナーは、子ども達に大人気でした。地元からはパンや焼き菓子の出店のほか、いちごの即売も大盛況でした。

ステージでは青空の下で地域の方がフラダンスや民踊を披露したほか、子ども達による元気なダンスが会場を盛り上げました。屋外で見る踊りの美しさに見惚れてしまいました。多数のアーティストによるスペシャルライブは多くのファンも集まり、会場の一体感は一気に。

地域の内外から集まった方々は思い思いに祭りを楽しみ、交流を深める良い機会になったようです。

イベントの準備から運営まで関わった皆様、大変お疲れ様でした。



おいしく育ちますように！

昨年度から本格的に始まった三重小学校区まちづくり協議会(早崎 常男会長)の農業体験事業。今年も一環のサツマイモ作りが始まります。

晴天にめぐまれた3月13日、三重小学校の敷地内の畑に1、2年生が元気良く集合し、種イモを植える作業が行われました。子ども達は地域の方々に優しく教えてもらいながら、種イモを手に畑に並び、丁寧に植え付けました。地域の方々が手際よくビニールでトンネルを設置し、保温も万全です。5月のイモ挿しまで楽しみです。

同協議会では昨年度と同様に、米作りも計画しており、地域の方々が着々と準備をしています。

今年も、この日から始まった農業体験を通じて、子どもたちは農作物を育てる楽しさや素晴らしさを学ぶことでしょう。貴重な経験で学んだことが脈々と受け継がれ、地域の子ども達から次の世代に伝えられて行くことが期待されます。

